

適財適所

～限りある財源を適する所～

半田市の「4つの財務諸表」を公表します！

4つの財務諸表

みなさんに半田市の財政状況をよりよく理解していただくため、国の「新地方公会計制度」に基づき、土地開発公社などの関連団体も含めた連結ベースの4つの財務諸表（「基準モデル」*）による平成26年度決算分）を作成しました。

- 行政コスト計算書
- 純資産変動計算書
- 資金収支計算書
- 貸借対照表

この4つの財務諸表を作成したことにより、市が所有する資産と債務の実態が把握できるようになりました。これからもこの財務諸表を活用し、健全な財政運営に努めます。

*基準モデル

すべての資産を洗い出し、個々の取引情報を発生主義により複式記帳する「基準モデル」に対し、国が示すもう1つのモデルである「総務省方式改訂モデル」は、既存の決算統計データを活用することが認められています。半田市では、資産評価などの面で正確性に優れていると言われる「基準モデル」により財務諸表を作成しています。

一般会計など20会計（団体）が連結されています

【連結の対象となる会計など】

- 一般会計
- 特別会計
 - ・ 中小企業従業員退職金等福祉共済事業
 - ・ 知多半田駅前土地区画整理事業
 - ・ 乙川中部土地区画整理事業
 - ・ 学校給食
 - ・ 黒石墓地事業
 - ・ 下水道事業
 - ・ 駐車場事業
 - ・ モーターボート競走事業
 - ・ 国民健康保険事業
 - ・ 介護保険事業
 - ・ 後期高齢者医療事業
- 企業会計
 - ・ 半田市立半田病院事業
 - ・ 水道事業
- 一部事務組合
 - ・ 知多中部広域事務組合
 - ・ 半田常滑看護専門学校管理組合
 - ・ 知多南部広域環境組合
- 第3セクターなど
 - ・ 半田市土地開発公社
 - ・ 知多南部卸売市場(株)
 - ・ (株)タウンマネージメント半田

半田市全体の財政状況は？

財務諸表から見た3つのポイント

- ① 市民1人当たりの資産は325万円、負債は66万円
前年度と比較して、資産は2万円の増（前年度323万円）、負債は2万円の増（前年度64万円）となりました。
 - ② 純資産比率 79.8%
市が持つ資産のうち負債を差し引いた正味の財産を示す純資産比率（純資産／総資産）は、前年度より0.5ポイント下回りました（前年度80.3%）。
 - ③ 社会資本形成に係る現役世代負担率 84.1%
※民間企業の自己資本比率に相当するもので、財政の安定性を評価するために用いられます。地方公共団体では、この比率が高いほど良いとされています。
- 「純資産／公共資産」は、前年度より1.6ポイント下回りました（前年度85.7%）。社会資本形成の約8割を現在までの世代が負担し、将来世代への負担を極力抑えています。

財務諸表の用語解説

- 社会保障給付
生活保護費、障がい者手当、児童手当など
- 経常収益
使用料など行政サービスの対価的収益（税収は出資に相当するため、経常収益に含まれません）
- 基礎的財政収支
いわゆるプライマリーバランスで、公債費関連を除く基礎的な財政収支
- インフラ資産
道路など社会基盤となる資産
- 事業用資産
インフラ資産以外で公共サービスに共されている資産（小中学校、公民館など）
- 退職手当引当金
全職員が年度末に普通退職したと仮定した場合の退職手当見込額

実際に
4つの財務諸表を
見てみましょう！

